能北新聞
秋田県能代市追分町1-1-8
編集　能北新聞社
発行　能代北高生徒会
印刷所　㈱大東堂印刷

佐藤会長に聞く・今年の生徒会

2大行事に力点を置く

小委員会の活躍にも期待

新年度があとり、前期の活動計画を佐藤生徒会長と各委員長にたずねた。生徒会がスムーズに運営されるためには、全校生徒の協力を得たいという声がどの委員の口からもきかれた。

"一人一人が行事に参加する。"という公約をもって出発した年徒会執行部。昨年の反省とこれからの計画についてたずねた。

「現執行部の初仕事であった学級会は、だいぶ評判がよかったのでホッとした」と昨年をふりかえって語ってくれた。

これからの重点目標は、北高祭の成功で、内容としては「北高生だけが楽しむのではなく北高の文化を出していきたい。見学に来た人に北高をトしく理解してもらえるようにしたい」具体的な計画は総体に延ばしというとだが、「ティーマをきちんとつくり、一人一人が仕事を受け持ち充実したものにしたい。またHRデコなどの順位制をなくし各クラスに楽しめるものにしたい」ということであった。

七月になれるHR対抗については、「四日間授業なしで何なうというのは初の試みでスムーズにできるかどうかなるが、体育委員会とよく話し合い、選手が疲れたり、応援とまちまちったりしないように注意したい」

また小委員会については、「委員会によって仕事にムラがあるが委員会の形態はこのままでいいと思う。委員は所属する委員会の働きをよく把握し、委員であることを自覚して責任のある行動をしてほしい」と語ってくれた。

小委員会　活動方針

各委員会に今年度の活動内容を聞いてみた。全般的に昨年度と同じような活動をするようだが、今年度新しく行なうものとして次のようなことがあげられた。

総務―集会時に、総務委員が壇上に立って整頓の指導をする。

購買―生徒が購買をするように考えているが、また意見や要望などをアンケート調査をする。

交通―交通安全思想の徹底。自転車の優先方、列車の正しい利用のしかた等に努力。

新聞―本校が会場になるバスケットボール大会の取材や広報の活動をする。

小さなデータ

本校の「姉妹」調査

（55年5月調べ）

①1年と2年の姉妹―[illegible]
②1年と3年の姉妹―[illegible]
③2年と2年の姉妹―[illegible]
④2年と3年の姉妹―[illegible]

"青さ"の中で

空の青さが水面に映ったのか水の青さが空に映っているのか

"青さ"と"青さ"にはさまれてきょうも

水泳部員の練習が続いている

クロール、平泳ぎ、バタフライ……型はいろいろあっても

ゴールは同じ！

県北制覇

全国制覇。

（プールでがんばる水泳部員）

別途積立て金がゼロに

生徒会費　来年度は値上げか

今年度の生徒会予算は、各委員会や部との折衝を経て、二百九日の生徒総会で全部の部門について承認された。

今年度の予算総額は八百弱四百七十四円と、昨年度より二万二千九百七十七円減り、各委員会部ともやや抑えられた形になった。

これは、次年度の予算の運用をスムーズにするため三年前から置かれていた別途積立金が昨年度ゼロになったためにもかかわらず、今年度は生徒会費が値上げされなかったことと、昨年度より前年度繰り越し金が二千二万五千四百七十七円少なかったことによるものである。このため今年は、別途積立金の代わりにPTAから五十万円補助されることになった。

今年度の予算について、生徒会顧問の高橋打明先生にうかがうと「各委員会や部の請求額をとくに抑えたというわけだが、個人で使用するものや今年は我慢できるものなどがあったため、そういうものについては深度してもらったわけだ。

生徒会費は、五十二年度に後値上げしておらず、今年もすえ置かれたため、総わくがかなり窮屈であるため協力してもらった。

これからは、少ないお金をうまく運用していくのが問題である。また、来年度の生徒会費の値上げは大に予想される」と言われた。

外での体育

おあずけ　グラウンド整備

今年度から二年がかりで、「グラウンド整備」が行なわれる。本校のグラウンドは、年数がたっているため、使用上危険な状態が出てきていた。

グラウンドを主として使っていた陸上部のマネージャーの話によると、石炭の破片が出てきたりもして、とても練習できる状態ではなかったのだとのこと。

工事の一年目の今年はフィールドの整備が行なわれ、まず土を入れかえ、フィールドに芝生をしく。来年度はトラックを中心にその周辺を直す予定である。例年今ごろは、グラウンドで陸上競技練習の授業を行なっているが、今年は屋内体育館を主に使っている。

今年度は九月いっぱいまで作業する予定であるが、工事中何台ものトラックが出入りするため、裏門からの出入りは来分気をつけなければならない。

新校長・教頭インタビュー

柔道は五段と二段

又井校長先生

北高の印象はどうでしたか。

校長先生　生徒は、明るくて活気があるが、集会時の団体行動がへたなことが分かる。社会一般の常識が身についていない点が感じられ、やや相野な面も見受けられます。

教頭先生　制服がすばらしく、感じがいい。

工業高校に二十五年おりましたので、なじみの学校に出会えました。

北高生に望むことは何ですか。

校長先生　悔いのない学校生活を送るため、何事にも手を出し切ることと、

三浦教頭先生

教頭先生　能代北高生としての誇りを持って、女らしく、そして明るい楽しい一日一日を送り、勉強・運動にがんばってもらいたい。

北高でどんなことをなさりたいですか。

校長先生　北高を誇りに思えるような学校づくりに努力したい。

まだ、何らかの機会をもうけて生徒のみなさんとも語り合いたい。

教頭先生　授業などを通して、できるだけ語り合いを持ち、生徒の何かを引き出して、楽しい思い出として残していきたい。

校長先生の専門は、工業の金属部門。教頭先生は化学で、一年六組についておられる。

校長先生はスポーツが、教頭先生は、釣り・読書がお好きとのことである。また、おたがいにも、柔道が段得意で、校長先生は五段、教頭先生は二段という腕前だとうかがった。

論説

友を通して知る自己

時にはうれしく、時には悲しいものがないほどに乗り越られる。「子供にとっての一番の教師は子供だ」ということはがあるとうかがい、同じような生活の中で同じような年齢の友人たちの、しかし少しずつ、

できる、友だちはあなたにがんばれる……こうした関係は確実に自分自身を鍛える。「友人は自分を育てるためにある」と言ってはいいすぎだが、事実友人を通して自分を知ったという人は少なくないと思う。

「いい友だちがほしい」とは誰もが思う。しかし、「いい友だちになろう」という自分の努力はおろそかにされてしまいがちだ。

友だちは、あんなに親切で、友だちは、あんな言葉づかいが

私たちは、今よりもっと語り合い、お互いを鍛えあうべきだ。

いものだ。

二月号を共に送った、クラスやクラブでの友人を、自分はどんな目で見てきたか。どのようにかかわりを持ってきたか。そういう問いかけを自分にしてみたらどうだろうか。また、自分の存在が、クラスやクラブにとってどんな意味を持ったのかも考えてみるべきではないか。

「いい友だちがほしい」とは誰もが思う。しかし、「いい友だちになろう」という自分の努力はおろそかにされてしまいがちだ。

校訓

よく学び　よく遊べ

真実を尚び　ふかく歩め

報恩の誠を致せ

体育館に校訓の扁額

三月に卒業した三十二期生からの記念品として、校訓を書いた扁額が贈られた。これは、二間に一間ほどの大きいもので、ステージをはさんで校歌の扁額と並べて掲げられた。揮毫されたのは校歌を書かれた本校旧職員、宮田淳子先生。

最近は入試試験の面接で、よく校訓について質問されるとのことである。これを機会にわが校の校訓を全部言えるように、まことの意味を調べておこう。

（体育館に掲げられた校訓）

―HR対抗―

球技大会は一学期に

今年のホームルーム対抗体育大会は、水泳大会を二学期に、他の種目を一学期に行なうことになった。

変更された理由としては、昨年までは球技大会と体育大会は二学期に、水泳大会は一学期の終業式の前日に行なわれていたが、二学期に球技大会や体育大会等をたなうと、練習に気をとられて学習に集中できない、今度の変更によって二学期にはゆとりをもって学習できるようにと配慮されている。

日程は七月十二日から十九日までで、この四日間にバレーボール、バスケットボール、バドミントン、卓球の予選・決勝と体育大会が行なわれる。

試合場所は、バレーボール・バスケットボールは第一体育館。

新任・離任の先生がた

今年度の定期異動で、十二人の先生方が転出、十四人の先生方が着任になった。

▼ご転出になった先生

（　）は前任校

土崎十一校長（潟上北高校長）
中村史朗教頭（大館南高校長）
青山三男先生（二ツ井高）、川村義先生（能代農高）、梅田幸孝先生（能代高）、鈴木繁雄先生（能代工高）、佐々木繁雄先生（秋田北高）、太田勝子先生（県立聾学校）、田畑和先生（小坂高）、梅田保子先生（能代高）、伊藤洋子主事（能代高）

▼ご着任の先生（　）は前任校

又井岡業雄校長（県立図書館）
三浦業雄教頭（本校定時制）
進藤紀行先生（二ツ井高）、平山清先生（能代高）、田村繁二先生（能代西高）、松田光雄先生（鷹巣農林高）、朝野正先生（花輪高）、岸野直彦先生（花輪高定）、小野靖子先生（二ツ井高）、進藤聡先生（増田高定）、中川真人先生（能代商大卒）、秋元彩先生（早稲田大卒）、川間靖子先生（能代工高）、朝水朋子主事（早稲田大卒）

なお、英語科の金三先生は秋田経済大学附属高校へ出向なさるため、本校は休職なさった。向こう三年間、同校で進学指導をなさる。

今年度の定期異動で、十二人の先生方が転出、十四人の先生方が着任になった。

▼ご転出になった先生

（　）は前任校

土崎十一校長（潟上北高校長）
中村史朗教頭（大館南高校長）
青山三男先生（二ツ井高）、川村義先生（能代農高）、梅田幸孝先生（能代高）、鈴木繁雄先生（能代工高）、佐々木繁雄先生（秋田北高）、太田勝子先生（県立聾学校）、田畑和先生（小坂高）、梅田保子先生（能代高）、伊藤洋子主事（能代高）

▼ご着任の先生（　）は前任校

又井岡業雄校長（県立図書館）
三浦業雄教頭（本校定時制）
進藤紀行先生（二ツ井高）、平山清先生（能代高）、田村繁二先生（能代西高）、松田光雄先生（鷹巣農林高）、朝野正先生（花輪高）、岸野直彦先生（花輪高定）、小野靖子先生（二ツ井高）、進藤聡先生（増田高定）、中川真人先生（能代商大卒）、秋元彩先生（早稲田大卒）、川間靖子先生（能代工高）、朝水朋子主事（早稲田大卒）

なお、英語科の金三先生は秋田経済大学附属高校へ出向なさるため、本校は休職なさった。向こう三年間、同校で進学指導をなさる。

「昨年は卓球の三桁万里さんは、甘すぎ、当日急に抽選したり、ルールについても細かい話し合いが足りなかったようで、選手の人たちに迷惑をかけてしまったので、体育委員は、もっと自分の仕事」責任をもって事にあたるようにしたい」と語っていた。

体育委員長の三桁万里さんは、

[illegible]